

8. 外国語

科 目	コミュニケーション英語 I ①	単位数	2	区 分	必履修
教科書・教材	三省堂『VISTA English Communication I』New Edition	配当年次			1年次
授業のねらい・概要					
英語学習における初歩、基礎基本の学力を身につけることが授業のねらいである。中学時代に何となくわからないまま進んでいったことをもう一度学び直し、一つ一つの学習項目に対して「わかる」ことを実感しつつ、新たな発見をしながら学習を進め、確かな基礎力を身につけることを目標に置く。					
授業の進め方					
毎時間、プリント教材に書き込みをすることが授業の中心であるが、わかることを積極的に発言することで意欲的に授業に参加できるようにする。					
		学 習 の 内 容		考 査	時 数
前期	4月	アルファベット・ローマ字		①	12
	5月	基礎的な英語の単語・辞書の引き方など			
	6月	be動詞		②	16
	7月	be動詞の疑問文・否定文			
	8月	一般動詞			
9月	一般動詞の疑問文・否定文		③	11	
後期	10月	特殊疑問文			④
	11月	進行形			
	12月	過去形		⑤	20
	1月	助動詞			
	2月				
3月					
評価の方法					
原則として定期考査（約80%）・出席状況（約10%）・平常の授業態度（約10%）等を総合的に判断して評価する。					
備 考					
評価の三観点：知識・技能⇒考査、思考・判断・表現⇒考査及び平素の授業態度、主体的に学習に取り組む態度⇒出席状況及び平素の授業態度に基づく。					

科 目	コミュニケーション英語 I ②	単位数	2	区 分	選択
教科書・教材	三省堂『VISTA English Communication I』New Edition	配当年次			2年次
授業のねらい・概要					
英語学習の基本に立ち、1年次の学習を元に更に中学での既習事項を復習していく。1年次同様、生徒が「わかる」ことを最重要課題と考え、学習を進めていく。					
授業の進め方					
毎時間、プリント教材に書き込みをすることが授業の中心であるが、わかることを積極的に発言することで意欲的に授業に参加できるようにする。					
		学 習 の 内 容		考 査	時 数
前期	4月	5文型		①	12
	5月				
	6月	不定詞		②	16
	7月				
	8月	動名詞			
9月			③	11	
後期	10月	完了形			④
	11月				
	12月	完了形		⑤	20
	1月				
	2月				
3月					
評価の方法					
原則として定期考査（約80%）・出席状況（約10%）・平常の授業態度（約10%）等を総合的に判断して評価する。					
備 考					
評価の三観点：知識・技能⇒考査、思考・判断・表現⇒考査及び平素の授業態度、主体的に学習に取り組む態度⇒出席状況及び平素の授業態度に基づく。					

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ①	単位数	2	区 分	選択		
教科書・教材	三省堂『VISTA English Communication Ⅱ』New Edition	配当年次	3年次				
授業のねらい・概要							
1・2年次に学習した事項を基礎に、さらに新しい題材を通して、英語の基本を身につけてゆく。生徒が納得したうえで理解することを最重要課題と考え、学習を進めていく。							
授業の進め方							
毎時間、プリント教材に書き込みをすることが授業の中心であるが、わかることを積極的に発言することで意欲的に授業に参加できるようにする。							
		学 習 の 内 容			考 査	時 数	
前期	4月	過去形の復習		①	12		
	5月	完了形					
	6月	能動態と受動態					
	7月						
後期	8月	関係詞		③	11		
	9月						
	10月	疑問詞と関係詞				④	19
	11月						
	12月						
1月	関係代名詞と関係副詞						
2月		⑤	20				
3月							
評価の方法							
原則として定期考査（約80％）・出席状況（約10％）・平常の授業態度（約10％）等を総合的に判断して評価する。							
備 考							
評価の三観点：知識・技能⇒考査、思考・判断・表現⇒考査及び平素の授業態度、主体的に学習に取り組む態度⇒出席状況及び平素の授業態度に基づく。							

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ②	単位数	2	区 分	選択		
教科書・教材	三省堂『VISTA English Communication Ⅱ』New Edition	配当年次	4年次				
授業のねらい・概要							
1・2・3年次に学習した事項を基礎に、さらに新しい題材を通して、英語の基本を身につけてゆく。生徒が納得したうえで理解することを最重要課題と考え、学習を進めていく。							
授業の進め方							
毎時間、プリント教材に書き込みをすることが授業の中心であるが、わかることを積極的に発言することで意欲的に授業に参加できるようにする。							
		学 習 の 内 容			考 査	時 数	
前期	4月	疑問詞や i f で始まる節		①	12		
	5月	比較					
	6月	名詞を修飾する分詞					
	7月	知覚動詞					
後期	8月	第5文型		③	11		
	9月	使役動詞					
	10月	関係代名詞 w h a t				④	19
	11月	関係代名詞の非制限用法					
	12月	過去完了形					
1月	強調構文						
2月		⑤	20				
3月							
評価の方法							
原則として定期考査（約80％）・出席状況（約10％）・平常の授業態度（約10％）等を総合的に判断して評価する。							
備 考							
評価の三観点：知識・技能⇒考査、思考・判断・表現⇒考査及び平素の授業態度、主体的に学習に取り組む態度⇒出席状況及び平素の授業態度に基づく。							

科 目	ベーシック英語	単位数	1	区 分	選択
教科書・教材	自主教材			配当年次	2年次
授業のねらい・概要					
年間を通じて中学英語の初歩・初級レベルの内容に限定し、繰り返し問題練習を行っていくことで英語の基礎を固めることをねらいとする。					
		学 習 の 内 容		考 査	時 数
前期	4月	中学初級レベル英語			28
	5月	中学初級レベル英語			
	6月	中学初級レベル英語			28
	7月	中学初級レベル英語			
	8月	中学初級レベル英語		考查③	27
9月	中学初級レベル英語				
後期	10月	中学初級レベル英語			41
	11月	中学初級レベル英語			
	12月	中学初級レベル英語		考查⑤	41
	1月	中学初級レベル英語			
	2月	中学初級レベル英語			
3月	中学初級レベル英語				
評価の方法					
原則として毎時の課題の内容及び提出状況（約40%）・授業態度（約10%）・出席状況（約50%）を総合的に判断して評価する。					
備 考					
評価の三観点：知識・技能⇒課題の内容と提出状況、思考・判断・表現⇒課題の内容と提出状況及び授業態度、主体的に学習に取り組む態度⇒出席状況及び授業態度に基づく。					